

支部長・幹事長新任挨拶

◆支部長新任にあたって…



支部長
川端 清太
鹿島道路株式会社
中部支店執行役員支店長

第65回中部支部通常総会におきまして、支部長という大役を仰せつかり、誠に光栄に存じますと共に大変な重責に身が引き締まる思いです。

はじめに、岩田裕美前支部長におかれましては3年間にわたり当支部の活動の活性化、一般社団法人への移行等、支部の事業運営にリーダーシップをいかに発揮されご尽力をいただきましたことに、心よりお礼申し上げます。

さて、我々道路業界は、将来発生が予想される「南海トラフ地震」に対する防災・減災対策や昨年発生した事故

により顕在化した社会インフラの老朽化対策の重要性及び必要性がクローズアップされました。今後、これらの対策に対応していかなければならないにもかかわらず、資材の高騰、作業員の不足、建設業就労者の高齢化等々により、厳しい経営環境に置かれています。

一方、明るい話題として昨年の政権交代により、今年に入り大幅な補正予算の執行、公共労務単価の大幅な見直し、低入札基準の一般管理費の見直し等、我々道路業界にも改善の兆しを感じられるようになってきました。

当協会の基本理念は、「道路整備の推進」「道路技術の向上」「道路建設業の健全な発展」です。この基本理念に基づき当支部の本年の活動方針を「道路建設市場の変化に素早く対応し、道路整備の着実な発展、安全確保、社会的責任の全うに向け活動を推し進めていく」としました。この活動方針のもと、道路業界の健全な発展並びに会員の皆様のご繁栄に尽力いたす所存でございますので、会員の皆様方の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



と世論の支持に後押しされた大きな波が日本経済全体に広がり、為替相場の円安効果による株価押し上げとなっていきました。

政府が目指す物価上昇率2%によるデフレ脱却、公共事業費拡大の方針転換は我々建設業界には強い追い風となっていくものでは有りますが、円安による原材料価格の高騰と民間設備投資の回復効果は未だ先が見えない状況です。

又、昨年度発生致しました笹子トンネル天井板崩落事故は社会に一石を投じる事故であり、社会から求められる、安全・安心を提供し信頼される業界造りを会員皆様と共に微力ながら尽力いたす所存です。

今後とも会員の皆様方の絶大なるご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◆幹事長新任されて…



幹事長
寺林 裕二
日本道路株式会社
中部支店執行役員支店長

中部支部通常総会に於きまして、幹事長を仰せつかりました寺林でございます。

当協会の事業活動はもとより、中部緊急防災協会との協力関係を考えれば、大変な重責に身が引き締まる思いです。

さて、我々建設業界の環境は近年目まぐるしく変化し、その時代に即した対応を求められております。

昨年冬に、自公連立与党が生まれ安倍首相の元、経済再生を旗印にアベノミクス(経済政策)が進められ、期待